



「宮城県ドクターヘリ」が活動しています

救急医療体制のさらなる充実を目指して

昨年10月から「宮城県ドクターヘリ」の運航を開始しました。救急現場にいち早く出動できるよう、日々万全の体制で緊急事態に備えています。県では、消防本部や基地病院となっている仙台医療センター、東北大学病院と連携し、救命率の向上や後遺症の軽減に向けた取り組みを進めています。

今後は隣県との相互応援体制なども構築し、ドクターヘリの効果的な運用に取り組んでいきます。

県では、一人でも多くの命を救うため、医療・消防・行政などの関係機関と緊密に連携しながら、救急医療体制のさらなる充実を目指していきます。

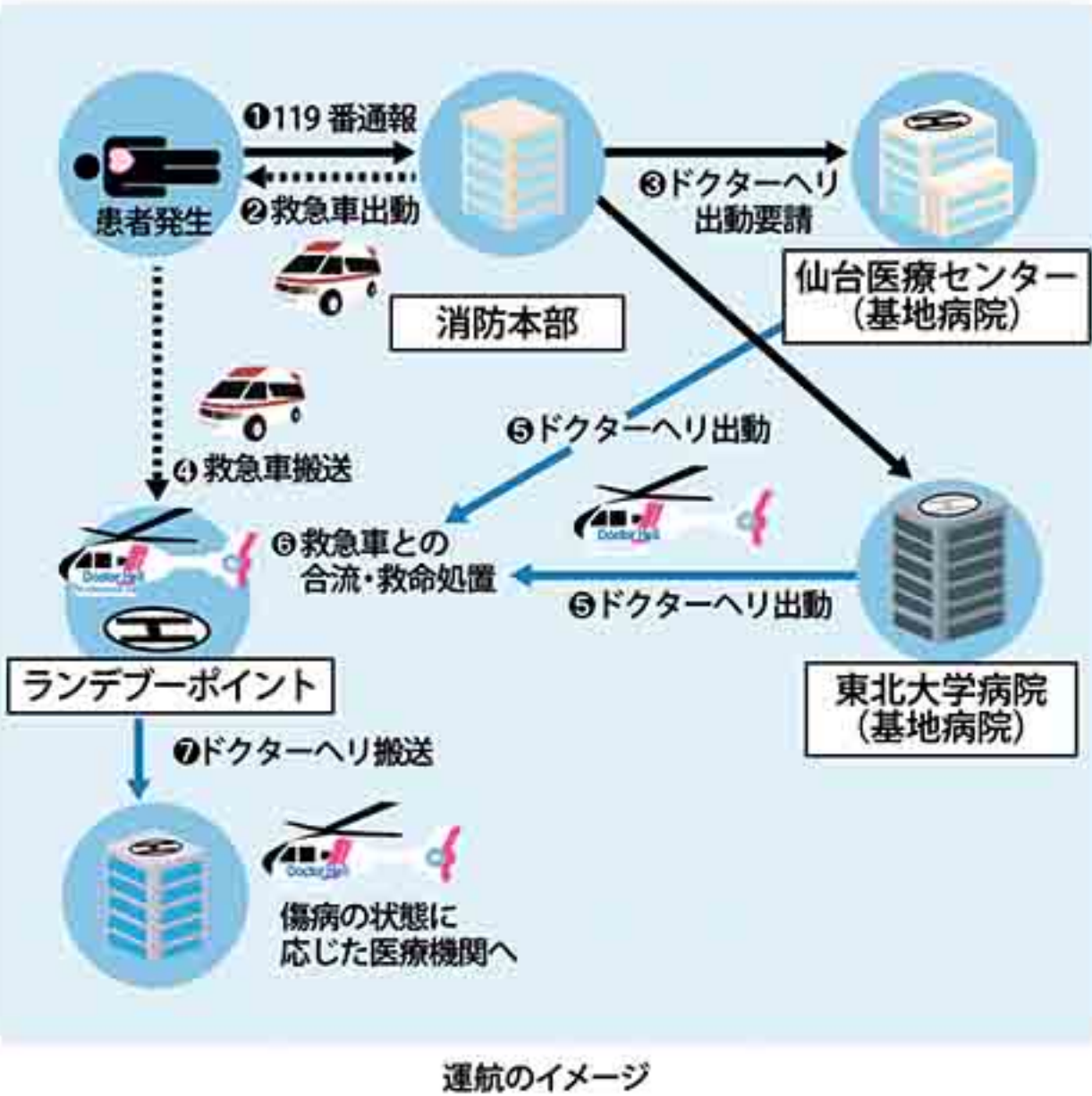
多くの重症患者が同時発生した場合、宮城県ドクターヘリだけでなく、隣県のドクターヘリにも出動応援を求めることが可能になります。

● 隣県との相互応援体制の構築

県では、広域的な救急医療体制の充実を図るため、岩手・山形・福島との3県とドクターヘリの相互利用が可能となる連携体制の構築に向け、調整しています。

例えば県内で、多数の重症患者が同時発生した場合、宮城県ドクターヘリだけでなく、隣県のドクターヘリにも出動応援を求めることが可能になります。

なお、ランデブーポイントは、駐車場やグラウンドなど、県内約350カ所が登録されています。ドクターヘリが離陸する際には、一時的に、エンジン音や風が発生する場合がありますが、安全対策には万全を期しています。



● 救命率の向上と後遺症の軽減

ドクターヘリは、医療機器などが装備された救急医療用のヘリコプターで、医師と看護師が搭乗します。消防本部からの出動要請を受けたドクターヘリは、救急現場付近のランデブーポイント（臨時離着陸場）へ向かい、救急車が搬送してきた患者を乗せて、医療機関に搬送します。

ヘリを活用し命を救います

優れた機動性、災害時にも発揮

国立病院機構 仙台医療センター
院長 田所 慶一さん



ドクターヘリの基地病院の一つである仙台医療センターは、救命救急センターが大きな役割を果たしている。救急患者の搬送は年間5千件を超える。

「まだ始まったばかりなのでドクターヘリによる搬送数はそれほど多くなく、現場では搬送要請の見極めが難しいのですが、経験を積みばスムーズに対応できるようになるでしょう。一刻を争うケースなどで威力を発揮するはずですので、基地病院としての役割を確実に果たしていきます。離島など医療資源が不足している地域の不安解消にも貢献します」

県内唯一の基幹災害拠点病院として、ドクターヘリの災害時活用を期待を膨らませる。

「3.11の東日本大震災では県外から複数機が応援に来ましたから、ヘリによる搬送は機動性に優れているのは分かっていました。災害が起きた土地では医療機能が低下するので、近県でカバーし合うことも大切です。当院から山形などへ患者をヘリで広域的に搬送しました。災害時は消防や自衛隊など、ドクターヘリ以外のヘリと補完し合うことも求められます」

建設中の新病院は平成31年3月に完成の予定。新病院は県が整備する広域防災拠点と隣接し、災害医療で円滑な連携が可能になる。

「大規模災害時は医療を要する方のほか、多くの帰宅困難者が出ます。広域防災拠点と連携することで、そういう方々を受け入れやすくなるなど、できることが広がります。新潟県と東北6県で行っているDMAT訓練（災害派遣医療チーム訓練）をさらに重ね、災害にしっかり備えていきたいです」

ためらわず要請 経験蓄積を

仙台市立病院
院長 亀山 元信さん



平成25年2月定例県議会においてドクターヘリの導入が打ち出されて以降、宮城県ドクターヘリ運用調整委員会の委員長として関係機関の調整をしてきた。

「宮城県は東北の中でも遅れを取っていたので、歯がゆい思いをしてきました。都市部ならドクターカーでも賄えますが、県全体に救命救急医療をまねく広げるにはドクターヘリが必要です。今まで救えなかった命を救うことに加え、治療までに時間がかかって重篤な後遺症が残ってしまったケースについても、その軽減を図る機能は十分に果たせると思います」

さらに、県境を越えた連携にも期待を寄せている。

「災害時に限らず、県境で多数の傷病者が発生した場合など、より早く的確な医療機関に運ぶために広域連携は欠かせません」

運用に際しては、オーバーアライジ（救急度の過大評価）も許容するという考えに基づき、現場の救急隊が躊躇（ちゅうちよ）なく要請できるようにするためには経験の蓄積が大事だと考える。

「地域の病院から高度医療提供病院への病院間搬送もドクターヘリの役割の一つです。救急車で何時間もかけて搬送すれば、その間救急車一台と医師一人という物的、人的ロスが生じます。それをドクターヘリは解決します。そういうメリットをアピールし、周知していくことが大切です」

救急医療担う若手育成に注力

東北大学病院
病院長 八重樫 伸生さん



東北大学病院は県内唯一の高度救命救急センターを持ち、東日本大震災では、自衛隊機や自治体の防災ヘリで搬送されてくる患者の対応に当たらない。

「震災時、専用の医療機器を積んだヘリがあれば助けられる命もあったと思うことがあり、運用を待ち望んでいました。ドクターヘリは、搬送手段というイメージが強いと思いますが、実際は医師と看護師が現場に行き、早く診療を始めることが特長の一つです。そういう認識が広まればいいと思います。移動中は十分な治療ができないので、移動のための時間が短いということも非常に重要です。救急車で1時間かかると、医師による治療ができないのと、わずか10分の移動時間で、移動前から治療が始まっていることには大きな違いがあります」

搭乗できる医師や看護師の数は十分ではない。県を挙げて救急医療に力を入れ、若手を中心にトレーニングする必要性を感じている。

「ドクターヘリは、若手のモチベーションアップにもつながると期待しています。救急医療に目を向ける医療関係者が増えるよう、大学病院としても若手育成に力を入れていきます」

離島など医療機関や医師が不足している地域への出動要請にも、ドクターヘリが有効だと強調する。

「事故や病気のほか、周産期の妊婦さんの搬送にも役立つと考えます。産科は待たなしの事態が起こります。破水したり動けなくなったりした時、すぐに処置を受けられるのが望ましいですね。地域医療を支えるために、地元の病院との連携も大事にしながら運用していきたいです」

■企画 / 宮城県広報課 ◎お問い合わせ / 宮城県医療整備課 022(211)2622

県からのお知らせ

平成29年度宮城大学学生募集

①一般選抜②特別選抜(推薦入試)

●募集人員/①看護学58人、事業学24人、食産業学74人②看護学24人、事業学40人、食産業学28人

●出願期間/①1月23日(月)～2月1日(水) ②1月17日(火)～24日(火)

●試験日/①【前期】2月25日(土)・26日(日) ②【後期】3月12日(日)・13日(月) ※前期日程・後期日程ともに事業学・看護学および食産業学は1日目のみ試験実施(2月4日(土))

●募集要項/①下記に配布※郵送などを希望される場合は請求方法はホームページをご覧ください。②高等学校などを通過して配布

◎宮城大学アドミッションセンター
022(377)8333
http://www.myu.ac.jp/site/exam/
◎県立学文書課 022(211)2295

生物多様性シンポジウム

～みやぎの山と私たちの暮らし～

●内容/山を中心とした生き物と人間の関係や自然保護に関する講演、民間団体の取り組み報告、生物多様性推進活動の優秀表彰など

●講演/「山の生き物と私たちの暮らし」

●講師/東北大学大学院教授 中静 透氏

●日時・場所/1月30日(月)午後1時30分～4時、ホテル白萩(仙台市青葉区)

●申し込み/1月26日(木)までに電話、または代表者の氏名・電話番号・参加人数を明記し、ファクスにて下記へ

◎県自然保護課
022(211)2672 FAX022(211)2693

危険物取扱者試験(全種類)

●日程・場所/3月4日(土)・東北大学川内北キャンパス(仙台市青葉区)

●出願/1月12日(木)～20日(金)に郵送(消印有効)により下記センターへ

●願書/下記および主な消防署などに配布 ※一部の申請を除き電子申請も可能です。

◎〒981-8577 仙台市青葉区逢隈町4-17 県仙台合同庁舎5階 消防試験センター-宮城支部 022(276)4840

◎県消防課 022(211)2374

冬道の安全運転1・2・3運動

冬道は、積雪や凍結などによる交通事故が多発します。ドライバーの皆さんは、冬道の安全運転1・2・3運動「1割スピードダウン」「2倍の車間距離」「3分早めに出発」を実践し、交通事故防止に努めましょう。

併せて滑走事故防止3原則「急ブレーキをかける」「急ハンドルを切らない」「急加速しない」も心がけましょう。

◎県総合交通対策課 022(211)2438

みやぎグリーン購入セミナー参加者募集

平成28年4月から始まった電力の自由化に際しての環境にやさしい電力の選び方などを学びます。

●テーマ/電力の小売自由化とグリーン購入

●日時/1月20日(金)午後2時～4時30分

●場所/県環境センター(仙台市宮城野区)

●費用/定員/無料・50人

●申し込み/1月13日(金)までに、メールまたはファクスにより下記へ

◎県農林水産部 022(211)2756

地域医療まごころ講座参加中学生募集

●内容/医師・看護師になるまでの道筋や受験事情、仕事内容などをまごころ講座

●対象/医師・看護師を目指す中学生

●定員/80人(医学希望40人・看護希望40人)※応募多数の場合は抽選

●開催日/3月4日(土)

●場所/県大崎合同庁舎

●費用/無料

※申し込み方法など詳しくは下記へお問い合わせください。

◎県医師確保対策室 022(211)2692
http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/tsikakuho/

平成28年台風10号等被災漁業者向け対策資金

●対象/台風10号など(平成28年8月16日～9月1日までの間の暴風雨および豪雨)により漁業経営の維持が困難となった個人および法人

●使途/被災施設の復旧費、当面必要な人件費、種苗購入費、購買支払代金などの支払いに要する経費

●貸付限度額/施設・水産物被害額の8割または1千万円のいずれか低い額

●貸付金利/年0.08%以内(取組金融機関による)

●償還期間/5年(うち繰上返済1年)以内

●借入申込期間/2月28日(火)まで

※詳しくは、下記へお問い合わせください。

◎県農林水産部 022(211)2756



みやぎ環境フォーラム

地球温暖化防止のために家庭で実践できる取り組みについてのフォーラムを開催します。

●内容/講演「国がなくなる?〜キリバス共和国と地球温暖化〜」(講師:キリバス共和国名誉領事 名譽領事・大使顧問ケンタロウ・オノ氏)、地球温暖化クイズ大会など

●日時/1月29日(日)午後1時～4時

●場所/仙台市情報・産業プラザ目的ホール(仙台市青葉区 アエル5階)

●費用・申し込み/無料・不要

◎県環境政策課 022(211)2661

女性医師による女性の健康相談

女性の健康増進や禁煙に関する相談、思春期や更年期に伴う身体的・精神的不調、家庭や職場でのストレスなどで悩んでいる女性の相談に応じます(完全予約制・相談無料)。

●相談日/2月4日(土)

●場所/塩釜市民交流センター

●予約先/宮城県女医会女性の健康相談室 090(5840)1993(月曜から金曜(祝日を除く)午前9時～午後5時)

※予約は上記携帯電話のみで受け付けます。

◎県健康推進課 022(211)2623

みやぎぎっちゃんるるぶフォーラム

子どもたちの健全な成長に必要な「乳児期(0歳～1歳)」「幼児期(1歳～3歳)」「学童期(3歳～6歳)」について、一緒に考えてみましょう。

●内容/東北大学川内北キャンパスにて講演、川島教授と対談「クワパオハ」のくわぱおはりえさんによる対談、ニュースポーツ体験など

●日時/1月29日(日)午前10時～午後0時45分

●場所/夢メッセみやぎ西館ホール(仙台市宮城野区)

●費用/無料

※申し込み方法など詳しくは、ホームページをご覧ください。

◎県教育企画室 022(211)3616
http://runburu.jp

運転免許更新時の高齢者講習が変わります

3月12日(日)から70歳以上の方の運転免許更新時の高齢者講習制度が変わります。

75歳未満の方は講習時間が2時間に、75歳以上の方は認知機能検査の結果により講習時間が2時間または3時間になります。

また、75歳以上の方が一定の違反行為をしたときは、臨時認知機能検査を受け、その結果によっては臨時高齢者講習を受けなければなりません。

なお、認知機能検査の結果、認知症のおそれがある方は、専門医または主治医の診断を受け、診断書を提出する必要があります。

◎県警察本部運転教育課 022(373)3601

食料王国みやぎ
宮城がうまい! Vol.4 ~セリ~
食料王国みやぎが誇るおいしい食材をご紹介します。

■ 爽やかな香りともがみ特徴
春の七草の一つ「セリ」。独特の香りと清涼感のあるもがみ特徴で、料理のおいしさを一層引き立てます。宮城では昔から雑煮の具材などとして親しまれています。

■ 宮城は生産量全国第1位
宮城のセリは名取市を中心とした「仙台セリ」と、石巻市河北地区の「河北セリ」の2つが代表的なブランド。どちらも根の張りや良く、茎がしっかりして歯ごたえが良いことが特徴です。平成26年の出荷量は436トンで、全国生産量の約3分の1を占めています(農林水産省・平成26年地域特産野菜生産状況調査)。

おいしくて、栄養をまるごと取れる鍋がオススメ!

独特の香りともがみとした食感が、おたしにしておいしいセリ。ここ数年、根のおいしさが再認識され、葉・茎は違った食感が楽しめます。

これからの時期、セリの栄養をまるごと取る鍋はいいですね。中でも近年ブームになっている「せり鍋」がおすすめです。セリの香りは肉の臭みを取る効果もあるので、鶏肉などと相性抜群。しょうゆは控えめにし、白だし、塩、みりんなどで味を調えましょう。肉などの具材に程よく火が通ったら、いよいよセリの出番。煮すぎないように、しゃぶしゃぶをするような感覚で、根は10秒ほど、葉はさっと汁にくぐらせたらもう食べ頃。セリの鮮やかな緑色が鍋に彩を加え、シャキシャキとした歯ごたえが印象に残るおいしさです。

セリの旬は3月末ごろまで。味も栄養も一番良い状態の旬を逃さないでください。

◎県食産振興課 022(211)2813
食料王国みやぎホームページ http://www.foodkingdom-miyagi.jp/